

## 名古屋大学環境学研究科・准教授または講師公募要領

1	募 集 件 名	准教授または講師の公募	
2	所 属	大学院環境学研究科社会環境学専攻環境法政論講座	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>環境に関わる政治学または国際関係論分野において、専門分野だけでなく、環境学研究科が重視する「地球規模課題」を踏まえた研究を行い、環境分野の仕事に携わる人材と幅広い知識を持つ専門家を育成する。とりわけ大学院生の研究指導に意欲的に取り組む。また、研究科の中長期ビジョンに貢献できる次のような人材を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究科内の文理融合型の環境学教育の推進。</li> <li>・他分野の研究者と連携した研究や国際共同研究の推進。</li> <li>・社会（企業・政府・自治体・NPO 等）との協働プロジェクトや研究成果の社会実装に取り組むことも期待される。</li> </ul> <p>担当授業科目（予定）は、大学院環境学研究科（博士前期・後期課程）および法学部、全学共通教育における政治学に関する講義とセミナー。英語による講義・セミナーを含む。</p> <p>[勤務地] 愛知県名古屋市千種区</p> <p>[募集人員] 准教授または講師（任期無）・1名</p> <p>[着任時期] 2025年4月1日</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	政治学およびその関連分野
		小分類	国際関係論、環境政治学
5	勤 務 形 態	常勤（年俸制）	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着任時までに博士の学位を有すること。</li> <li>・政治学または国際関係論を専門分野として、環境に関して優れた研究実績を有すること（英語による研究業績を有することが望ましい）。</li> <li>・グローバルな視点で環境問題を教えられること。</li> <li>・本研究科が重視する地球規模10課題 &lt; <a href="https://www.env.nagoya-u.ac.jp/research/theme.html">https://www.env.nagoya-u.ac.jp/research/theme.html</a> &gt; の解決に資する研究に、他分野の研究者と連携しつつ主体的に取り組めること。</li> <li>・教育・研究指導のために十分な英語能力および日本語能力を有すること。</li> <li>・留学経験、海外との共同研究や国際会議運営に関わった経験があること、または今後、国際的な研究成果発信が期待できること。</li> </ul>	
7	待 遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。</li> </ul> <p><a href="https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm">https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与は本学において定める年俸制とする。</li> </ul>	
8	応 募 期 間	2024年2月14日～2024年4月26日（必着）	

9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 履歴書（学歴、職歴、賞罰、学会における活動、社会における活動）</li> <li>2) 研究業績目録（以下の5項目に分けて記載すること） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原著論文（査読の有無を併記すること）</li> <li>・ 著書（単著・共著・分担執筆等の別を併記すること）</li> <li>・ その他の出版物</li> <li>・ 研究発表（招待・基調・一般講演、口頭・ポスター等の別を併記すること）</li> <li>・ 競争的資金の獲得実績（代表者・分担者等の別を併記すること）</li> </ul> </li> <li>3) 主要な論文の別刷またはコピー（合わせて3編以内、著書の場合は現物も可とする）</li> <li>4) 現在までの研究・教育・社会活動の概要（A4に1500字程度、書式は任意）</li> <li>5) 今後の研究計画と教育に関する抱負（A4に1500字程度、書式は任意）</li> </ol> <p>以上の書類を紙媒体ではなく、PDFファイルで作成し、それを収めたCD・DVD・USBメモリ等を、「環境法政論講座教員応募書類在中」と朱書き（表面）した封筒に封入の上、応募期間内（必着）に下記宛に簡易書留等で郵送すること。なお、主要業績に書籍がある場合は、書籍現物も可とする。</p> <p>[提出書類の送付および問い合わせ先]</p> <p>〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科（全学教育棟）野村 康</p> <p>Tel.: 052-747-6507      Email: nomura.ko.n8@f.mail.nagoya-u.ac.jp</p> <hr/> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書類選考の上、2024年6～7月（予定）に面接を実施する。面接時に英語（または日本語）による模擬授業をお願いすることがある。なお面接は、感染症拡大等の状況によってはオンラインでおこなうこともある。</li> <li>・ 面接実施者については、電話または電子メールで連絡をおこなう。上記の履歴書中に、電話番号・電子メールアドレス等、連絡先を必ず記載すること。</li> </ul>
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しない。</li> <li>・ 郵便事情等により応募書類（CD・DVD・USBメモリ等やその中のファイル）の破損が疑われるときには、電子メール等によって応募者に確認することがある。</li> <li>・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しない。ただし、主要業績として提出した書籍の返却を希望される場合は、必ず返信先を記した返信用の封筒を同封すること。</li> <li>・ 面接に要する費用（交通費・宿泊費等）は支給しない。</li> </ul> <p>※2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これにより、本公募に応募の際には「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。以下から自己申告書様式（日本語または英語）をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出下さい。 <a href="https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/KPyJnRamaoJr9mZ">https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/KPyJnRamaoJr9mZ</a></p> <p>※名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>